

1. なぜ Excel なのか

1. 1 日本の生産性の低さ

日本は失われたバブル崩壊後の十年以降、経済ノルマである年数%の生産性向上を、安易に、ゼロ金利、円安、中小零細個人の労働賃金削除によって達成してきました。この安易な手法による生産性向上にも、昨今の経済事情を鑑みますと限界に近づきつつあります。

本来あるべき生産性向上とは、一部の負担によって行われるものではなく、国民全てが等しく負担しなければならないものと考えています。

また、その手法も、安易な労働賃金の削除に頼るのではなく、人の知恵をもって生産性向上を実現することが、先進国である日本の進むべき道と確信しています。

生産性 (Productivity) = 出力 (Output) ÷ 入力 (Input) で、率で表すことができます。

生産性を上げるには、小さな入力で大きな出力を得ることを意味し、昨今、流行の省エネにも通じます。

この個人の省エネを実現する、IT 分野の道具として以下の二点の理由によって Excel が大変優れているものと確信しています。

- ・ 最も普及している (啓蒙コストが低く抑えられる)
- ・ 自由度に優れている (システムの命である変化対応能力に優れている)

1. 2 非定型業務の IT 化

非定型業務とは、一般の業務アプリケーションなどを代表とする、定型化された業務外のことを称したものです。

業務アプリケーションにデータ入力するまでには、桁違いのデータが発生するのが一般であり、その多くのデータは IT とは無縁のところにあるのが現状です。その結果が生産性の低下を招いています。

大手の企業には、自社の非定型業務を少なくする為に、納入下請業者に定型化されたデータのみしか受け付けないという方法を採用しているところもあります。

この結果、納入下請業者は、同じ種のデータ提出でも、十社十色のデータ作成を強いられることがあります。

結果、市販の業務アプリケーションソフトでは十分な対応ができない。できても複数の指定伝票を用意しなければならないなど。省エネに反するのが多々存在します。

また昨今では、ISO が普及し、世の中で不祥事が起きるたびに、定型業務に付帯する提

出書類が増えてくるという笑えない現状もあります。

このような、非定型業務の IT 化には、定型業務での一般的な機能に加え、変化対応能力が不可欠となります。

2. Excel の自由度

Excel の自由度を保障する 4 つの機能

2. 1 表計算機能
2. 2 グラフィック機能
2. 3 データベース機能
2. 4 プログラミング機能

Excel の自由度の高さが、定型化しにくい業務のフロントアプリケーション開発の生産性を保障します。

3. Excel(データベース機能)、Access、MySQL

データベース機能

1. データの登録・変更・削除
2. データの検索・抽出

※データの計算はデータベース機能の一部ですが、ここでは含みません。

※SQL (エスキューエル) は、リレーショナルデータベースマネジメントシステム (RDBMS) において、データの操作や定義を行うためのデータベース言語 (問い合わせ言語) である。

Excel、Access、MySQL に共通しているデータベースという機能についてのそれぞれの特徴

3. 1 Excel (データベース機能)

Excel でのデータベース機能は、直感的操作に優れ、特別な教育無しに誰もが利用できる場所に特徴があります。ただし、SQL 言語ではありません。

3. 2 Access

Access にも Excel のような表計算機能、グラフィック機能はありますが、機能としては Excel にはかないません。しかし、フロントアプリケーション作成としてのプログラミング機能、SQL 互換のデータベース機能に優れています。一例として Access のクエ

リーから SQL を作成し、MySQL を操作することができます。

3. MySQL

MySQL は SQL データベースの一つのデータベース名であり、他には MicrosoftSQL、OracleSQL、PostgreSQL などがあります。これらデータベースに共通して利用されている言語が SQL 言語です。

SQL 言語の利点は、データベース操作の共通言語と位置づけられ、多くのアプリケーション言語からデータベース操作を可能とします。

もう一つ大きな利点として、SQL サーバーはインターネットで一般的に使われている通信プロトコル TCP/IP を利用しているために、だれもが容易に広域データベースシステムを構築することが可能です。

(IP アドレスとポート指定参考 ; MySQL では 3306)

一方で、TCP/IP にはセキュリティーの面で問題があります。その対策として、VPN の利用によって、安全な広域データベースシステムの構築ができます。

4. データベースとは(私見)

データベースとは、時系列 (ランダム) に発生するデータを、利用の形態を意識することなく収集でき、その後、収集したデータから必要とされる情報を自由に利用することを可能にします。

データベース言語である SQL 言語は、多くのプログラミング言語で利用できますので、データベースをアプリケーション間のデータ伝達媒体として利用することを可能とします。システムを制するには、データを制することでありませう。

データを制することは、正しいデータを、収集コストを如何にして安くして集めるかという単純なところにあります。(平凡なことを非凡に行う) このデータを制するのに Excel が最も優れていると確信しています。

Web 作成ソフトとして代表されるソフトにホームページビルダーがあります。

また、同じ主の Web 作成ソフトに Movable Type というものもありますが、Web 作成ソフトではなく、ブログ作成ソフトと呼ばれています。

両者の違いは、データベース機能を Web 作成に組み入れているか否かにあります。

時系列に発生したデータを収集し、必要に合わせて選択、抽出できる機能が Movable Type に付属しています。

この時系列に発生したデータというのみに強調するがゆえに、**Movable Type** をブログ（日記）作成ソフトと思われています。

しかし、データベース機能に注目すれば、**Wbb** データベースシステムが容易に構築でき、桁違いの生産性の向上をもたらしてくれます。

※この **Movable Type** の基本概念も、フォルダーやファイル管理で、脈々とデータを制するコンセプトがソフトとして実現されています。